

親子の飲行動に関する一考察 —女子高校生とその両親—

関口紀子*¹, 原田まつ子*¹, 東愛子*¹, 斎藤禮子*¹, 加藤栄子*², 下川千代子*³,
五十嵐益恵*³, 副島敏子*⁴, 三石禮子*⁵, 高木廣文*⁶

(東京家政大学*¹, 淑徳短期大学*², 相模女子大学*³, 聖徳大学*⁴, 昭和女子大学*⁵, 文部省統計数理研究所*⁶)

A Studied on Drinking Behaviors about Parents and Chidren

Different of High school girls and Their Parents

Noriko Sekiguchi, Matsuko Harada, Aiko Higashi, Reiko Saitō, Eiko Katō, Chiyoko Shimokawa, Masue Igarashi, Toshiko Soegima, Reiko Mitsuishi and Hirofumi Takagi

- *¹ *Tokyo Kasei University*, 1-18-1, Kaga, Itabasi-ku, Tokyo, 173-0003
- *² *Shukutoku Junior College*, 5-3-7, Maeno-chō, Itabasi-ku, Tokyo, 174-0063
- *³ *Sagami Women's University*, 2-1-1, Bunkyo, Sagamihara-shi, Kanagawa, 228-0807
- *⁴ *Seitoku University*, 531, Sagamidai, Matudo-shi, Chiba, 271-8555
- *⁵ *Showa, Women's University*, 1-7-57, Taishido, Setagaya-ku, Tokyo, 154-0004
- *⁶ *The Institute of Statisticai Mathematics*, 4-6-7, Minami-azabu, Minato-ku, Tokyo, 106-0047

- *¹ 〒173-0003 東京都板橋区加賀 1-18-1
- *² 〒174-0063 東京都板橋区前野町 5-3-7
- *³ 〒228-0807 神奈川県相模原市文京 2-1-1
- *⁴ 〒271-8555 千葉県松戸市相模台531
- *⁵ 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 1-7-57
- *⁶ 〒106-0047 東京都港区南麻布 4-6-7

The actual status of beverage drinking behavior and preferences was investigated in female senior high school students and their parents, and the similarities and differences between parents and children were assessed. The results are outlined below.

A high percentage of all three, i.e., the student and both parents, drink green tea/oolong tea and milk. The female senior high school students drink much more fruit juices, lactic acid bacteria beverages, cola drinks/carbonated beverages, coffee/tea (with sugar), isotonic beverages, and dietary fiber beverages. They also drink a greater volume per day and usually drink several different kinds of beverages. In addition, they drink these beverages inside and outside the home, often drinking lactic acid bacteria beverages and fruit juices at mealtime, and cola drinks/carbonated beverages and isotonic beverages at any time during the day, at mealtimes and at other times. In terms of preferences, the female senior high school students often liked beverages other than vegetable juices more, and many more cited "preference," "physiology," "custom," and

“health reasons” as reasons for consuming them than their parents. The father often drink vegetable juices, and they drink both milk and coffee/tea (with and without sugar) outside the home. The mothers prefer drinking coffee/tea (without sugar) inside and outside the home, and often drink green/oolong tea at home. Many of them do not like isotonic drinks, dietary fiber drinks, and cola drinks/carbonated beverages. Both parents gave “health” and “custom” as their reasons for choosing the beverages they drink.

Similar percentages of female senior high school students and both parents drink milk for health reasons and green tea/oolong tea, cola drinks/carbonated beverages, and isotonic beverages for physiological reasons, and similar percentages of students and mothers drank green tea/oolong tea, coffee/tea (with sugar) for reasons of preference, and thus there were similarities between the drinking behavior of the parents and the children.

1. 緒 言

近年わが国においては、高度経済成長に伴って食生活は豊かなものになり、人々の生活様式も多様化し、食品の種類も複雑化している。一方食品業界においては、消費者のニーズに応え、あるいは消費者ニーズを先取りした商品の開発・販売に力をいれ、ニーズを創りだしている面もある^{1,2,3)}。

そこで著者らは、家計調査年報⁴⁾や酒類食品統計年報⁵⁾から食品の年次推移をみたところ、外食、調理食品、酒、飲料などが増加傾向にあった。特に飲料についてみると、近年種類(清涼飲料・アルコール飲料類)も多種多様化し、街角やオフィス内に多くの自動販売機が設置されていることや、家庭内の冷凍冷蔵庫の大型化などにより、多種類の飲料が紙パックや缶・ビン・ペットボトルなどでストックされ、家庭や外出先などで手軽に利用され飲まれているものと推測される。また最近の若者の中には、清涼飲料の過飲により健康を害する者もいるといわれている。飲料に関する調査は、会田ら⁶⁾の牛乳飲用量と嗜好、本田ら⁷⁾の中学生を対象とした日本茶の飲用と食事、佐藤ら⁸⁾の女子短大生を対象に飲料の利用状況、さらに関ら⁹⁾は女子短大生を対象に季節による飲料の摂取状況の差や摂取理由について報告しているが、高校生を対象にした飲行動調査はみあたらない。また両親との差異や類似点など明らかにしたものもない。そこで本報では、飲料に視点をおき、心身共に成熟期を迎える一手手前で、行動半径や交友範囲も広がり、流行に敏感で好奇心旺盛な現代の女子高校生とその両親を対象に、日頃よく飲む飲料の有無、場所、時間帯、嗜好、理由についての飲行動を調査し、女子高校生の飲行動の特徴と

両親との差異および類似点について検討したので報告する。

2. 調査方法

調査対象：都市近郊の私立女子高校生(2年生)332名とその両親(父親332名、母親332名)

調査時期：平成6年4月～5月

調査方法：クラス担任を通して、アンケート用紙を配布し自己記入式、また両親については家庭に持ち帰り自己記入式、一部は生徒が聞き取り調査により行った。

調査内容：飲料の摂取状況(有無)、摂取場所、時間帯、嗜好、摂取理由について親子の差異および類似点をみた。

分析方法：集計・解析には統計学パッケージHALBAU¹⁰⁾を使用し百分率、 χ^2 検定・マクネマー検定¹¹⁾を用いた。

3. 結 果

(1) 対象の特性

対象者の特性は表1に示すとおりである。対象者の女子高校生の年齢は16～17歳で、両親は40歳代が多く父親71.1%、母親88.3%であった。BMI(body mass index: 体重kg/身長²m²)を算出し体格状況をみると、平均値で高校生 20.2 ± 2.1 、父親 22.8 ± 2.5 、母親 21.8 ± 2.3 で、肥満度からみると肥満・やや肥満は父親に多く12.6%であり、高校生・母親は6%であった。また高校生・母親に痩せが多く、父親は少ない傾向にある。肥満度別と体型意識についてみると、普通体型であるのに太りすぎと意識している者が女子高校生65%、父親60%、母親78%

表 1 対象の女性

対象 年齢	女子高校生 (n=332)		父親 (n=332)		母親 (n=332)*1	
	実数	%	実数	%	実数	%
10代	332	100				
20代						
30代			5	1.5	20	6.0
40代			236	71.1	293	88.3
50代			88	26.5	17	5.1
60代			1	0.3	1	0.3
無回答			2	0.6	1	0.3
体格	M±SD	CV	M±SD	CV	M±SD	CV
身長 cm	159.0±5.0	3.17	169.0±5.5	3.27	156.0±5.0	3.22
体重 kg	50.7±5.7	11.35	65.4±8.3	12.62	53.1±6.2	11.72
BMI	20.0±2.1	10.68	22.8±2.5	10.78	21.8±2.3	10.53
肥満度 *2	実数	%	実数	%	実数	%
痩せ	73	22.0	57	17.2	86	25.9
普通	131	39.5	179	53.9	169	50.9
やや肥満	15	4.5	34	10.2	12	3.6
肥満	5	1.5	8	2.4	7	2.1
無回答	108	32.5	54	16.3	58	17.5

*1 母親の職業 有 152人 46.9%
無 172人 53.1%

*2 痩せ……-10%未満
普通……±10%
やや肥満……+10%以上～+20%未満
肥満……+20%以上

*肥満度算出においては、第5次改訂日本人の栄養所要量性・年齢別 BMI 推計基準値を用いた。

おり、意識と実体型の違いがみられた。次に母親の職業の有無についてみると、46.9%の母親が何らかの職業についていた。

(2) 飲行動

1) 飲料の摂取状況

各種飲料の摂取状況について表2に示す。

日頃飲んでいる飲料の有無（飲む、飲まない）について回答率をみると、全体では緑茶・ウーロン茶、牛乳を80%以上の者が飲むと回答しており、果実飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）、乳酸菌飲料、コーヒー・紅茶（砂糖なし）、コーラ・炭酸飲料は60%以上の者がよく飲んでいる。一方飲まないの回答高率を示しているのは、食物繊維飲料（66.8%）、低脂肪牛乳（61.6%）、野菜ジュース（55.3%）であった。

次に高校生・父親・母親の三者別に摂取割合をみると、三者共に緑茶・ウーロン茶を92%以上の者が飲んでおり、高校生においては果実飲料も同様であった。次に

高校生によく飲まれているのは乳酸菌飲料、牛乳、コーラ・炭酸飲料で80%以上の者が、また両親は共に牛乳をよく飲んでおり84%であった。あまり飲まれていない飲料をあげると、高校生では野菜ジュース（65.4%）、低脂肪牛乳（56.9%）、食物繊維飲料（55.1%）で、父親は食物繊維飲料（70.1%）、低脂肪牛乳（61.1%）、スポーツ飲料（52.1%）で、母親は食物繊維飲料（75.3%）、スポーツ飲料（67.2%）、低脂肪牛乳（66.9%）、野菜ジュース（56.3%）であった。量については、緑茶・ウーロン茶を50%以上の者が一日コップ2杯以上飲んでおり、中でも母親は73.4%と高率を示した。その他の飲料は1杯以上飲む者が多いが、中でもコーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）は両親に多く飲まれ、27～42%の者が2杯以上飲んでいて、高校生は牛乳、低脂肪牛乳、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料を両親より量を多く飲んでいて、

次に高校生と父・母親間について検討すると、果実飲料

表2 飲料の摂取状況

飲 物	有 無	全体	女子高校生	父親	母親	χ^2 検定	
		n=996	n=332	n=332	n=332	女子高校生-父親	女子高校生-母親
1 牛乳	飲む	834 (83.7)	275 (82.8)	279 (84.0)	280 (84.3)		
	飲まない	162 (16.3)	57 (17.2)	53 (16.0)	52 (15.7)		
2 低脂肪牛乳	飲む	382 (38.4)	143 (43.1)	129 (38.9)	110 (33.1)		** *
	飲まない	614 (61.6)	189 (56.9)	203 (61.1)	222 (66.9)		
3 乳酸菌飲料	飲む	694 (69.7)	288 (86.7)	203 (61.1)	203 (61.1)	** *	** *
	飲まない	302 (30.3)	44 (13.3)	129 (38.9)	129 (38.9)		
4 野菜ジュース	飲む	445 (44.7)	115 (34.6)	185 (55.7)	145 (43.7)	** *	*
	飲まない	551 (55.3)	217 (65.4)	147 (44.3)	187 (56.3)		
5 果実飲料	飲む	777 (78.0)	311 (93.7)	230 (69.3)	236 (71.1)	** *	** *
	飲まない	219 (21.9)	21 (6.3)	102 (30.7)	96 (28.9)		
6 緑茶・ウーロン茶	飲む	948 (95.2)	317 (95.5)	308 (92.8)	323 (97.3)		
	飲まない	48 (4.8)	15 (4.5)	24 (7.2)	9 (2.7)		
7 コーラ・炭酸飲料	飲む	634 (63.7)	271 (81.6)	178 (53.6)	185 (55.7)	** *	** *
	飲まない	360 (36.1)	60 (18.1)	154 (46.4)	146 (44.0)		
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	飲む	697 (69.9)	265 (79.8)	219 (66.0)	213 (64.2)	** *	** *
	飲まない	299 (30.0)	67 (20.2)	113 (34.0)	119 (35.8)		
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	飲む	640 (64.3)	213 (64.2)	193 (58.1)	234 (70.5)		
	飲まない	456 (35.7)	119 (35.8)	139 (41.9)	98 (29.5)		
10 スポーツ飲料	飲む	518 (52.0)	250 (75.3)	159 (47.9)	109 (32.8)	** *	** *
	飲まない	478 (47.9)	82 (24.7)	173 (52.1)	223 (67.2)		
11 食物繊維飲料	飲む	331 (33.2)	149 (44.9)	100 (30.1)	82 (24.7)	** *	** *
	飲まない	665 (66.8)	183 (55.1)	232 (70.1)	250 (75.3)		

() 内はnに対する%

* P<0.05 ** P<0.01 *** P<0.001

無回答・不明は除外

料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶(砂糖入り)、スポーツ飲料、食物繊維飲料は両親より高校生に飲んでいる者が多く有意差がみられた(P<0.001)。特徴的であるのは、野菜ジュースで、父親が55.7%の飲む回答率を示し、高校生・母親より飲む率が高く有意差がみられた(P<0.001)。高校生は両親に比較して多種類の飲料を日頃よく飲んでいる。

2) 飲料を飲む場所と時間帯

各種飲料をどこで飲むのかその場所について、家庭内と家庭外でみると、全体では家庭内・外でよく飲まれているのは、緑茶・ウーロン茶、果実飲料であり、また牛乳は圧倒的に家庭内で飲まれており、71.1%と高率を示している。そのほかに家庭内でよく飲まれているのは乳酸菌飲料、低脂肪牛乳、野菜ジュースであり、家庭外ではコーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶(砂糖入り)、スポーツ飲料であった。

次に高校生と父・母親間についてみると、緑茶・ウーロン茶は高校生・父親に家庭内・外でよく飲まれているが、母親は家庭内で飲む者が多く特徴がみられ、高校生と母親間に有意差がみられた(P<0.001)。また果実飲料、食物繊維飲料は高校生が家庭外で飲むのが多く、父親との間に差がみられ、コーラ・炭酸飲料については両親との間に有意差がみられた(P<0.001)。家庭外で父親が高校生より飲んでいる飲料は牛乳、コーヒー・紅茶(砂糖入り、なし)で、また野菜ジュースは父親に、コーヒー・紅茶(砂糖なし)は母親が家庭内・外でよく飲んでおり、高校生と父・母親間に有意差がみられた(P<0.001)。

各種飲料の飲む時間帯について食事時か食事外かについて表4でみると、女子高校生と両親が共に食事時・食事外によく飲んでいるのは、緑茶・ウーロン茶(71.2%, 64.6%)と牛乳(45.0%, 47.9%)で、低率ではあるが

表3 飲料の飲む場所

飲 物	場 所	全 体	女子高校生	父 親	母 親	χ^2 検定	
		n = 996	n = 332	n = 332	n = 332	女子高校生-父親	女子高校生-母親
1 牛乳	家庭内	734 (74.1)	261 (78.6)	224 (67.5)	253 (76.2)	* * *	*
	家庭外	82 (8.2)	8 (2.4)	53 (16.0)	21 (6.3)		
2 低脂肪牛乳	家庭内	336 (33.7)	135 (40.7)	102 (30.7)	99 (29.8)	* *	
	家庭外	20 (2.0)	3 (0.0)	14 (4.2)	3 (0.0)		
3 乳酸菌飲料	家庭内	483 (48.5)	187 (56.3)	123 (37.0)	173 (52.1)		* * *
	家庭外	167 (16.8)	86 (25.9)	64 (19.3)	17 (5.1)		
4 野菜ジュース	家庭内	325 (32.6)	92 (27.7)	116 (34.9)	117 (35.2)	* * *	
	家庭外	81 (8.1)	14 (4.2)	52 (15.7)	15 (4.5)		
5 果実飲料	家庭内	397 (39.9)	85 (25.6)	131 (39.5)	181 (54.5)	* * *	* * *
	家庭外	323 (32.4)	208 (62.7)	78 (23.5)	37 (11.1)		
6 緑茶・ウーロン茶	家庭内	517 (51.9)	156 (47.0)	141 (42.5)	220 (66.3)		* * *
	家庭外	388 (38.9)	147 (44.3)	154 (46.4)	87 (26.2)		
7 コーラ・炭酸飲料	家庭内	224 (22.5)	58 (17.5)	59 (17.8)	107 (32.2)	* *	* * *
	家庭外	371 (37.2)	199 (59.9)	104 (31.3)	68 (20.5)		
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	家庭内	293 (29.4)	136 (41.0)	60 (18.1)	97 (29.2)	* * *	
	家庭外	351 (35.2)	113 (34.0)	141 (42.5)	97 (29.2)		
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	家庭内	293 (29.4)	137 (41.3)	51 (15.4)	105 (31.6)	* * *	* * *
	家庭外	288 (28.9)	58 (17.5)	126 (37.9)	104 (31.3)		
10 スポーツ飲料	家庭内	133 (13.4)	46 (13.8)	39 (11.7)	48 (14.5)		* * *
	家庭外	345 (34.6)	184 (55.4)	109 (32.8)	52 (15.7)		
11 食物繊維飲料	家庭内	133 (13.4)	62 (18.7)	28 (8.4)	43 (12.9)	*	*
	家庭外	165 (16.6)	73 (22.0)	64 (19.3)	28 (8.4)		

() 内はnに対する% 複数回答

* P<0.05 ** P<0.01 *** P<0.001

野菜ジュース (19.8%, 23.3%), 低脂肪牛乳 (18.0%, 21.1%) も同様であった。他の飲料は食事外に飲んでいる。

次に高校生と父・母親間について検討すると、乳酸菌飲料、果実飲料は両親より高校生が食事時に飲む者が多く、また女子高校生に比べ両親はコーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料を食事外に飲む傾向にあるが、高校生は食事時・外にもよく飲んでおり、両親との間に有意差が認められた (P<0.05, P<0.001)。

(3) 飲料の嗜好

各種飲料の嗜好 (好き, 普通, 嫌い) を表5に示す。

飲料の嗜好度を全体からみると、好きの高率を示しているのは、緑茶・ウーロン茶で (66.6%), 次いで果実飲料 (46.6%), コーヒー・紅茶 (砂糖入り) (37.3%), 乳酸菌飲料 (35.6%), 牛乳 (34.8%), コーヒー・紅茶 (砂糖なし) (32.1%) の順に好まれており、また嫌いの率の高い飲料は、食物繊維飲料、低脂肪牛乳、野菜ジ

ュース、スポーツ飲料で約30~36%であった。三者別にみると、高校生では果実飲料が圧倒的に好まれ80.4%, 次いで緑茶・ウーロン茶72.9%, 乳酸菌飲料56.9%, コーヒー・紅茶 (砂糖入り) 46.1% の順で好まれており、両親は共に緑茶・ウーロン茶を約57~70%の者に好まれているが、他の飲料は高校生より好きの比率が低い傾向にあった。しかしコーヒー・紅茶 (砂糖なし) は母親の42.5%の者に好まれ、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶 (砂糖入り)、スポーツ飲料は高校生の約45%の者に好まれていた。

嫌いの率の高い飲料をあげると高校生においては、野菜ジュースがトップにあがり50.0%で、次いで低脂肪牛乳33.7%である。父親については、食物繊維飲料、コーヒー・紅茶 (砂糖なし)、スポーツ飲料、低脂肪牛乳、コーラ・炭酸飲料など31~40%の者に嫌われており、母親はスポーツ飲料、食物繊維飲料、低脂肪牛乳を41~48%の者が、また野菜ジュース、コーラ・炭酸飲料は31~

表4 飲料の飲む時間帯

飲 物	時間帯	全体	女子高校生	父親	母親	χ^2 検定	
		n = 996	n = 332	n = 332	n = 332	女子高校生-父親	女子高校生-母親
1 牛乳	食事時	448 (45.0)	167 (50.3)	138 (41.6)	143 (43.1)		
	食事外	477 (47.9)	164 (49.4)	150 (45.2)	163 (49.1)		
2 低脂肪牛乳	食事時	178 (18.0)	73 (22.0)	59 (17.8)	46 (13.9)		
	食事外	210 (21.1)	76 (22.9)	72 (21.7)	62 (18.7)		
3 乳酸菌飲料	食事時	248 (24.9)	129 (38.9)	65 (19.6)	54 (16.3)	*	***
	食事外	436 (43.8)	173 (52.1)	130 (39.2)	133 (40.1)		
4 野菜ジュース	食事時	197 (19.8)	62 (18.7)	78 (23.5)	57 (17.2)		
	食事外	232 (23.3)	68 (20.5)	94 (28.3)	70 (21.1)		
5 果実飲料	食事時	315 (31.6)	196 (59.0)	63 (19.0)	56 (16.9)	***	***
	食事外	487 (48.9)	190 (57.2)	145 (43.7)	152 (45.8)		
6 緑茶・ウーロン茶	食事時	709 (71.2)	243 (73.2)	218 (65.7)	248 (74.7)		
	食事外	643 (64.6)	200 (60.2)	213 (64.2)	230 (69.3)		
7 コーラ・炭酸飲料	食事時	120 (12.0)	79 (23.8)	19 (5.7)	22 (6.6)	***	***
	食事外	486 (48.8)	214 (64.5)	133 (40.1)	139 (41.9)		
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	食事時	332 (33.3)	146 (43.9)	89 (26.8)	97 (29.2)		
	食事外	481 (48.3)	176 (53.0)	147 (44.3)	158 (47.6)		
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	食事時	317 (31.8)	105 (31.6)	101 (30.4)	111 (33.4)		
	食事外	457 (45.9)	136 (40.9)	148 (44.6)	173 (52.1)		
10 スポーツ飲料	食事時	117 (11.7)	80 (24.1)	21 (6.3)	16 (4.8)	***	*
	食事外	375 (37.7)	181 (54.5)	117 (35.2)	77 (23.2)		
11 食物繊維飲料	食事時	71 (7.1)	36 (10.8)	20 (6.0)	15 (4.5)		
	食事外	241 (24.2)	111 (33.4)	70 (21.1)	60 (18.1)		

() 内はnに対する% 複数回答

* P<0.05 ** P<0.01 *** P<0.001

34%の母親に嫌われていた。

次に高校生と父親・母親間について検討すると、果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料は、両親より高校生に好まれ、両親との間に差がみられ ($P<0.001$)、また野菜ジュースは高校生に好まれず、母親より父親に好む傾向があり、高校生と両親間に有意差が認められた。

母親との関係では、スポーツ飲料、食物繊維飲料、低脂肪牛乳、コーラ・炭酸飲料は嫌いが高校生より母親に多く、差がみられた ($P<0.001$)。コーヒー・紅茶(砂糖なし)は高校生・父親より母親に好む率が高く、また(砂糖入り)は高校生に好まれ母親には好まれない傾向にあり、有意差がみられた ($P<0.05$)、($P<0.001$)。

(4) 飲料の摂取理由

各種飲料の摂取理由を6項目設け、回答を得た結果を表6に示す。

飲料を各理由別に出現率をみると、健康志向を目的とした「体によい」の理由で飲む飲料は、牛乳が多く55.8

%の者が、また野菜ジュース、乳酸菌飲料、低脂肪牛乳などは低率ではあるが22~25%の者が健康を意識して飲んでいる。生理的欲求の「喉が渇く」理由で飲むのは、緑茶・ウーロン茶、スポーツ飲料、コーラ・炭酸飲料、果実飲料である。嗜好的理由の「好き」で飲む飲料は緑茶・ウーロン茶、コーラ・炭酸飲料、果実飲料、コーヒー・紅茶(砂糖入り)、「習慣」で飲まれているのは、緑茶・ウーロン茶である。

高校生は両親に比べて、果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料を「好き」の嗜好的理由により飲む者が多く、両親との間にそれぞれ有意差がみられた ($P<0.001$)。また父親との比較において食物繊維飲料、母親との関係では牛乳が高校生に好まれている ($P<0.001$)。生理的欲求の「喉が渇く」理由がコーヒー・紅茶(砂糖入り・なし)に高校生に多く出現し、両親との間に差がみられた ($P<0.001$)。またコーラ・炭酸飲料は父親との間に、緑茶・ウーロン茶は母親との間にい

表 5 飲料の嗜好

飲 物	嗜 好	全 体	女子高校生	父 親	母 親	χ^2 検定	
		n = 996	n = 332	n = 332	n = 332	女子高校生 - 父親	女子高校生 - 母親
1 牛乳	好き	347 (34.8)	129 (38.9)	127 (38.3)	91 (27.4)		
	普通	504 (50.6)	149 (44.9)	162 (48.9)	193 (58.1)		
	嫌い	143 (14.4)	54 (16.3)	41 (12.3)	48 (14.5)		
2 低脂肪牛乳	好き	130 (13.0)	62 (18.7)	40 (12.0)	28 (8.4)		***
	普通	459 (46.1)	149 (44.9)	163 (49.1)	147 (44.3)		
	嫌い	357 (35.8)	112 (33.7)	108 (32.5)	137 (41.3)		
3 乳酸菌飲料	好き	355 (35.6)	189 (56.9)	90 (27.1)	76 (22.9)	***	***
	普通	485 (48.7)	120 (36.1)	171 (51.5)	194 (58.4)		
	嫌い	129 (12.9)	19 (5.7)	61 (18.4)	49 (14.8)		
4 野菜ジュース	好き	183 (18.4)	40 (12.0)	90 (27.1)	53 (16.0)	***	**
	普通	421 (42.3)	121 (36.4)	151 (45.5)	149 (44.9)		
	嫌い	360 (36.1)	166 (50.0)	79 (23.8)	115 (34.6)		
5 果実飲料	好き	464 (46.6)	267 (80.4)	93 (28.0)	104 (31.3)	***	***
	普通	435 (43.7)	54 (16.3)	195 (58.7)	186 (56.0)		
	嫌い	69 (6.9)	6 (1.8)	33 (9.9)	30 (9.0)		
6 緑茶・ウーロン茶	好き	663 (66.6)	242 (72.9)	189 (56.9)	232 (69.9)		
	普通	294 (29.5)	75 (22.6)	126 (38.0)	93 (28.0)		
	嫌い	30 (3.0)	13 (3.9)	13 (3.9)	4 (1.2)		
7 コーラ・炭酸飲料	好き	263 (26.4)	150 (45.2)	62 (18.7)	51 (15.4)	***	***
	普通	449 (45.1)	139 (41.9)	147 (44.3)	163 (49.1)		
	嫌い	246 (24.7)	39 (11.7)	104 (31.3)	103 (31.0)		
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	好き	372 (37.3)	153 (46.1)	108 (32.5)	111 (33.4)		***
	普通	366 (36.7)	122 (36.7)	127 (38.3)	117 (35.2)		
	嫌い	234 (23.5)	55 (16.6)	87 (26.2)	92 (27.8)		
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	好き	320 (32.1)	97 (29.2)	82 (24.7)	141 (42.5)		*
	普通	373 (37.4)	142 (42.8)	127 (38.3)	104 (31.3)		
	嫌い	271 (27.2)	85 (25.6)	110 (33.1)	76 (22.9)		
10 スポーツ飲料	好き	222 (22.3)	150 (45.2)	47 (14.2)	25 (7.5)		***
	普通	446 (44.8)	145 (43.7)	167 (50.3)	134 (40.4)		
	嫌い	302 (30.3)	33 (9.9)	108 (32.5)	161 (48.5)		
11 食物繊維飲料	好き	116 (11.6)	72 (21.7)	23 (6.9)	21 (6.3)		***
	普通	478 (48.0)	175 (52.7)	160 (48.2)	143 (43.1)		
	嫌い	360 (36.1)	74 (22.3)	134 (40.4)	152 (45.8)		

() 内はnに対する%

* P<0.05 ** P<0.01 *** P<0.001

 χ^2 検定は好き・嫌いで行った。

無回答・不明は除外

ずれも高校生の出現率が多く有意差がみられた ($P<0.05$, $P<0.001$)。「習慣」では牛乳が両親より高校生に多く、またコーヒー・紅茶(砂糖なし、砂糖入り)は両親に多かった ($P<0.001$)。

緑茶・ウーロン茶は母親が習慣でよく飲む ($P<0.001$)。健康志向の「体によい」理由で牛乳を飲むのは母親で、三者の中で最も多く、高校生は若干少なく母親

との間に差がみられた。 ($P<0.001$)。乳酸菌飲料、果実飲料では高校生より両親に多く差がみられた ($P<0.001$, $P<0.05$)。緑茶・ウーロン茶は両親より高校生に多かった。 ($P<0.01$)。娯楽的理由の「楽しみ」では、両親より女子高校生が果実飲料を選択する者が多く、母親はコーヒー・紅茶(砂糖入り・なし)を選択する者が多かった ($P<0.01$, $P<0.001$)。

表6 飲料の摂取理由

飲 物	理 由	全 体	女子高校生	父 親	母 親	χ^2 検定	
		n = 996	n = 332	n = 332	n = 332	女子高校生-父親	女子高校生-母親
1 牛乳	体によい	556 (55.8)	162 (48.8)	181 (54.5)	213 (64.2)		* * *
	美容	24 (2.4)	10 (3.0)	4 (1.2)	10 (3.0)		
	楽しみ	10 (1.0)	3 (0.0)	5 (1.5)	2 (0.0)		
	喉が渇く	186 (18.7)	72 (21.7)	63 (19.0)	51 (15.4)		*
	好き	174 (17.5)	77 (23.2)	59 (17.8)	38 (11.4)		* * *
	習慣	151 (15.2)	84 (25.3)	35 (10.5)	32 (9.6)	* * *	* * *
2 低脂肪牛乳	体によい	229 (22.9)	74 (22.3)	82 (25.0)	73 (22.0)	*	*
	美容	21 (2.1)	13 (3.9)	3 (0.0)	5 (1.7)	*	
	楽しみ	7 (0.0)	2 (0.0)	3 (0.0)	2 (0.0)		
	喉が渇く	88 (8.8)	37 (11.1)	32 (9.6)	19 (5.7)		
	好き	64 (6.4)	29 (8.7)	22 (6.6)	13 (3.9)		
	習慣	46 (4.6)	28 (8.4)	12 (3.6)	6 (1.8)	*	**
3 乳酸菌飲料	体によい	243 (24.3)	67 (20.2)	85 (25.6)	91 (27.4)	* * *	* * *
	美容	28 (2.8)	13 (3.9)	8 (2.4)	7 (2.1)		
	楽しみ	56 (5.6)	32 (9.6)	10 (3.0)	14 (4.2)	*	
	喉が渇く	163 (16.4)	67 (20.2)	58 (17.5)	38 (11.4)		
	好き	251 (25.2)	151 (45.5)	44 (13.3)	56 (16.9)	* * *	* * *
	習慣	20 (2.0)	9 (2.7)	6 (1.8)	5 (1.5)		
4 野菜ジュース	体によい	248 (24.9)	62 (18.7)	102 (30.7)	84 (25.3)		
	美容	52 (5.2)	22 (6.6)	8 (2.4)	22 (6.6)	* * *	
	楽しみ	19 (1.9)	8 (2.4)	8 (2.4)	3 (0.0)		
	喉が渇く	93 (9.3)	27 (8.1)	48 (14.5)	18 (5.4)		*
	好き	103 (10.3)	38 (11.4)	41 (12.3)	24 (7.2)	*	**
	習慣	12 (1.2)	4 (1.2)	6 (1.8)	2 (0.0)		
5 果実飲料	体によい	123 (12.3)	33 (9.9)	49 (14.8)	41 (12.3)	* * *	*
	美容	34 (3.4)	9 (2.7)	7 (2.1)	18 (5.4)		*
	楽しみ	85 (8.5)	54 (16.3)	10 (3.0)	21 (6.3)	* * *	**
	喉が渇く	334 (33.5)	126 (37.9)	111 (33.4)	97 (29.2)		
	好き	349 (35.0)	228 (68.7)	56 (16.9)	65 (19.6)	* * *	* * *
	習慣	17 (1.7)	8 (2.4)	6 (1.8)	3 (0.0)		
6 緑茶・ウーロン茶	体によい	197 (19.9)	86 (25.9)	53 (16.0)	59 (17.8)	**	**
	美容	58 (5.8)	50 (15.1)	2 (0.0)	6 (1.8)	* * *	* * *
	楽しみ	73 (7.3)	20 (6.0)	19 (5.7)	34 (10.2)		
	喉が渇く	414 (41.6)	172 (51.8)	122 (36.7)	120 (36.1)		* * *
	好き	412 (41.4)	155 (46.7)	98 (29.5)	159 (47.9)		
	習慣	423 (42.5)	103 (31.0)	151 (45.5)	169 (50.9)		* * *
7 コーラ・炭酸飲料	体によい	6 (0.0)	1 (0.0)	3 (0.0)	2 (0.0)		
	美容	4 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.0)	2 (0.0)		
	楽しみ	87 (8.7)	48 (14.5)	16 (4.8)	23 (6.9)	**	
	喉が渇く	351 (35.2)	136 (40.9)	110 (33.1)	105 (31.6)	*	
	好き	228 (22.9)	144 (43.4)	39 (11.7)	45 (13.6)	* * *	* * *
	習慣	8 (0.0)	4 (1.2)	3 (0.0)	1 (0.0)		
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	体によい	6 (0.0)	1 (0.0)	2 (0.0)	3 (0.0)		
	美容	4 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.0)	2 (0.0)		
	楽しみ	149 (14.9)	39 (11.7)	40 (12.0)	70 (21.1)		* * *
	喉が渇く	151 (15.2)	87 (26.2)	36 (10.8)	28 (8.4)	* * *	* * *
	好き	325 (32.6)	136 (40.9)	83 (25.0)	106 (31.9)	**	
	習慣	153 (15.4)	34 (10.2)	68 (20.5)	51 (15.4)	* * *	**
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	体によい	14 (1.4)	7 (2.1)	4 (1.2)	3 (0.0)		
	美容	10 (1.0)	6 (1.8)	3 (0.0)	1 (0.0)		
	楽しみ	125 (12.6)	25 (7.5)	36 (10.8)	64 (19.3)		* * *
	喉が渇く	153 (15.4)	76 (22.9)	36 (10.8)	41 (12.3)	* * *	* * *
	好き	274 (27.5)	81 (24.4)	77 (23.2)	116 (34.9)		*
	習慣	157 (15.8)	28 (8.4)	69 (20.8)	60 (18.1)	* * *	* * *
10 スポーツ飲料	体によい	65 (6.5)	20 (6.0)	27 (8.1)	18 (5.4)	**	*
	美容	10 (1.0)	3 (0.0)	3 (0.0)	4 (1.2)		
	楽しみ	26 (2.6)	16 (4.8)	5 (1.5)	5 (1.5)		
	喉が渇く	370 (37.1)	183 (55.1)	113 (34.0)	74 (22.3)		
	好き	118 (11.8)	93 (28.0)	18 (5.4)	7 (2.1)	* * *	* * *
	習慣	13 (1.3)	5 (1.5)	5 (1.5)	3 (0.0)		
11 食物繊維飲料	体によい	124 (12.4)	61 (18.4)	34 (10.2)	29 (8.7)		
	美容	43 (4.3)	28 (8.4)	5 (1.5)	10 (3.0)	* *	
	楽しみ	16 (1.6)	10 (3.0)	2 (0.0)	4 (1.2)		
	喉が渇く	128 (12.9)	53 (15.9)	45 (13.6)	30 (9.0)		
	好き	66 (6.6)	48 (14.5)	10 (3.0)	8 (2.4)	* * *	
	習慣	6 (0.0)	4 (1.2)	2 (0.0)	0 (0.0)		

() 内はnに対する% 複数回答

* P<0.05 ** P<0.01 *** P<0.001

(5) 飲行動における類似点

親子の飲行動における類似性をみるために、飲料の摂取状況・嗜好・摂取理由を女子高校生と父・母親間の一致率で、またマクネー検定により有意の関連性をみたのが表7—1, 2, 3である。

摂取状況において、女子高校生と父親間で各種の飲料を飲む一致率の高いのは、緑茶・ウーロン茶 (88.6%) で最も高く、ついで牛乳 (70.5%), 果実飲料 (64.8% $P < 0.01$), 乳酸菌飲料 (55.7% $P < 0.01$), コーヒー・紅茶砂糖入り・なし (54.5% $P < 0.01$ ・40.7%) で、飲まない者の一致率の高いのは、低脂肪牛乳 (42.2%), 食物繊維飲料 (44.0% $P < 0.01$) であった。乳酸菌飲料, 果実飲料, コーヒー・紅茶 (砂糖入り), 食物繊維飲料においては、摂取状況の一致率に有意な関連性がみられた。次に母親との関連についてみると、緑茶・ウーロン茶 (92.8%), 牛乳 (71.4%), 果実飲料 (68.4% $P < 0.01$), 乳酸菌飲料 (54.2% $P < 0.01$), コーヒー・紅茶砂糖

糖入り・なし (54.5% $P < 0.01$ ・49.7%) を飲む一致率が高く、父親間と同傾向を示し、低脂肪牛乳 (46.9% $P < 0.01$), 野菜ジュース (42.8% $P < 0.01$), 食物繊維飲料 (45.5% $P < 0.01$) は、飲まない者の一致率が高かった。乳酸菌飲料, 果実飲料, コーヒー・紅茶 (砂糖入り), 低脂肪牛乳, 野菜ジュース, 食物繊維飲料においては、一致率に有意な関連性が認められた。

嗜好において父親との関連では、どの飲料においても、好きの一致率が高く、中でも緑茶・ウーロン茶 (92.3%), 果実飲料 (88.1% $P < 0.01$), 乳酸菌飲料 (76.7% $P < 0.01$), 牛乳 (73.3%), コーヒー・紅茶 (砂糖入り) (61.9% $P < 0.01$), スポーツ飲料 (60.6% $P < 0.01$) が高い一致率を示した。また母親間では、低脂肪牛乳, 野菜ジュース, スポーツ飲料, 食物繊維飲料以外の飲料の一致率が高かった。次に摂取理由別に、女子高校生と両親との摂取一致率をみると、健康志向上の「体によい」理由で牛乳 (父親39.7% 母親48.5% $P < 0.01$), 低脂肪牛

表7—1 飲料の摂取状況における女子高校生と両親の一致率

飲 物	摂取状況	父 親		χ^2 値	検 定	母 親		χ^2 値	検 定
		飲む	飲まない			飲む	飲まない		
女子高校生									
1 牛乳	飲む	234 (70.5)	41 (12.3)	0.104		237 (71.4)	38 (11.5)	0.197	
	飲まない	45 (13.6)	12 (3.6)			43 (12.9)	14 (4.2)		
2 低脂肪牛乳	飲む	80 (24.1)	63 (19.0)	1.508		77 (23.2)	66 (19.9)	10.343	* *
	飲まない	49 (14.7)	140 (42.2)			33 (9.9)	156 (46.9)		
3 乳酸菌飲料	飲む	185 (55.7)	103 (31.1)	58.314	* *	180 (54.2)	108 (32.5)	53.862	* *
	飲まない	18 (5.4)	26 (7.8)			23 (6.9)	21 (6.3)		
4 野菜ジュース	飲む	82 (24.7)	33 (9.9)	35.007	* *	70 (21.1)	45 (13.6)	7.008	* *
	飲まない	103 (31.0)	114 (34.3)			75 (22.6)	142 (42.8)		
5 果実飲料	飲む	215 (64.8)	96 (28.9)	57.657	* *	227 (68.4)	84 (25.3)	58.881	* *
	飲まない	15 (4.5)	6 (1.8)			9 (2.7)	12 (3.6)		
6 緑茶・ウーロン茶	飲む	294 (88.6)	23 (6.9)	1.729		308 (92.8)	9 (2.7)	1.041	
	飲まない	14 (4.2)	1 (0.3)			15 (4.5)	0 (0.0)		
7 コーラ・炭酸飲料	飲む	149 (45.0)	122 (36.9)	57.660	* *	162 (49.1)	108 (32.7)	55.576	* *
	飲まない	28 (8.5)	32 (9.7)			22 (6.7)	38 (11.5)		
8 コーヒー・紅茶 (砂糖入り)	飲む	181 (54.5)	84 (25.3)	16.598	* *	181 (54.5)	84 (25.3)	22.422	* *
	飲まない	38 (11.4)	29 (8.7)			32 (9.6)	35 (10.5)		
9 コーヒー・紅茶 (砂糖なし)	飲む	135 (40.7)	78 (23.5)	2.654		165 (49.7)	48 (14.6)	3.418	
	飲まない	58 (17.5)	61 (18.4)			69 (20.8)	50 (15.1)		
10 スポーツ飲料	飲む	128 (38.6)	122 (36.7)	52.941	* *	95 (28.6)	155 (46.7)	115.976	* *
	飲まない	31 (9.3)	51 (15.4)			14 (4.2)	68 (20.5)		
11 食物繊維飲料	飲む	63 (18.9)	86 (25.9)	18.731	* *	50 (15.1)	99 (29.8)	33.251	* *
	飲まない	37 (11.1)	146 (44.0)			32 (9.6)	151 (45.5)		

() 内は%

検定はマクネー検定 * $P < 0.05$ * * $P < 0.01$

表 7-2 飲料の嗜好における女子高校生と両親の一致率

飲 物	嗜好	父 親		χ^2 値	検 定	母 親		χ^2 値	検 定
		好 き	嫌 い			好 き	嫌 い		
女子高校生									
1 牛乳	好 き	242 (73.3)	34 (10.3)	1.777		242 (72.9)	36 (10.8)	0.320	
	嫌 い	47 (14.2)	7 (2.1)			42 (12.7)	12 (3.6)		
2 低脂肪牛乳	好 き	141 (45.9)	60 (19.5)	0.000		132 (42.7)	67 (21.8)	5.787	*
	嫌 い	61 (19.9)	45 (14.7)			41 (13.3)	68 (22.1)		
3 乳酸菌飲料	好 き	244 (76.7)	56 (17.6)	25.565	**	255 (80.7)	42 (13.3)	13.017	**
	嫌 い	13 (4.1)	5 (1.5)			14 (4.4)	5 (1.6)		
4 野菜ジュース	好 き	132 (41.6)	25 (7.9)	49.704	**	116 (36.9)	38 (12.1)	17.203	**
	嫌 い	107 (33.8)	53 (16.7)			85 (27.7)	75 (23.9)		
5 果実飲料	好 き	280 (88.1)	32 (10.1)	18.270	**	283 (89.3)	28 (8.8)	16.532	**
	嫌 い	5 (1.6)	1 (0.3)			4 (1.3)	2 (0.6)		
6 緑茶・ウーロン茶	好 き	301 (92.3)	12 (3.7)	0.041		310 (94.8)	4 (1.2)	3.764	
	嫌 い	12 (3.7)	1 (0.3)			13 (3.9)	0 (0.0)		
7 コーラ・炭酸飲料	好 き	186 (59.8)	88 (28.3)	39.963	**	197 (62.5)	81 (25.7)	40.500	**
	嫌 い	21 (6.8)	16 (5.1)			17 (5.4)	20 (6.3)		
8 コーヒー・紅茶 (砂糖入り)	好 き	198 (61.9)	69 (21.6)	10.471	**	196 (61.6)	69 (21.7)	13.690	**
	嫌 い	35 (10.9)	18 (5.6)			31 (9.7)	22 (6.9)		
9 コーヒー・紅茶 (砂糖なし)	好 き	164 (52.1)	67 (21.3)	4.360	*	186 (58.7)	47 (14.8)	0.778	
	嫌 い	44 (13.9)	40 (12.7)			57 (17.9)	27 (8.5)		
10 スポーツ飲料	好 き	194 (60.6)	94 (29.4)	48.460	**	146 (45.9)	139 (43.7)	105.139	**
	嫌 い	19 (5.9)	13 (4.1)			12 (3.8)	21 (6.6)		
11 食物繊維飲料	好 き	166 (52.7)	118 (37.5)	76.126	**	138 (44.7)	98 (31.7)	43.680	**
	嫌 い	16 (5.1)	15 (4.8)			24 (7.8)	49 (15.7)		

() 内は% 検定はマクネマー検定 * $P < 0.05$ ** $P < 0.01$

乳(父親37.5% 母親36.4%), 野菜ジュース(父親35.4% 母親31.4%)で, 特に牛乳では母親間において有意な関連性がみられた。また生理的欲求の「喉が渇く」で選択し一致性が見られるのは緑茶・ウーロン茶(父親21.1% $P < 0.01$, 母親21.1% $P < 0.01$ %), コーラ・炭酸飲料(父親30.9%, 母親29.6%), スポーツ飲料(父親46.1%, 母親45.3%)で, 嗜好的理由の「好き」では母親間において, 緑茶・ウーロン茶, コーヒー・紅茶(砂糖入り)において一致性がみられた。

4. 考 察

本調査より, 飲料の飲行動について女子高校生とその両親の特徴と親子間の差異および類似点が若干であるが明らかとなった。

三者共に緑茶・ウーロン茶および牛乳は日頃よく飲む飲料として高い回答率を示している。量も多く飲む。緑茶・ウーロン茶について女子高校生と父親は, 家庭内・

外で飲み, 母親は家庭内で飲むのが多かった。また飲む時間帯も食事時・食事外に飲んでいる。緑茶は近年の飲み水の不味や不信感などから水がわりに飲用されていると思われる, また日本の伝統的な飲み物であり, 習慣的に食事時や休憩時あるいは社交の場で飲まれているものと思われる。本田らの⁷⁾中学生の調査によると, 自宅で飲む率が高く, 団らんとつながって飲用されていることから, 本報の高校生においても環境要因である家庭の飲習慣が影響しているものと推測する。またウーロン茶も近年消費量が増加している飲料で, 緑茶同様ノンカロリー飲料として好んで飲まれていると思われる。

牛乳においては, 家庭内で食事時・外で摂取されているが, 嗜好度は高くない。しかし, 健康志向により, 朝食時の主食パターンによるパン食・シリアル食に合う飲み物として, また間食時に摂取されているものと推測する。

女子高校生は両親より果実飲料, 乳酸菌飲料, コーラ

表7-3 飲料の摂取理由における女子高校生と両親の一致率

飲 物	摂取理由	父 親		χ^2 値	検定	母 親		χ^2 値	検定
		A	B			A	B		
1 牛乳	体によい	A 93 (39.7)	44 (18.8)	2.163		115 (48.5)	23 (9.7)	19.820	**
		B 60 (25.6)	37 (15.8)			66 (27.8)	33 (13.9)		
2 低脂肪牛乳	体によい	A 30 (37.5)	12 (15.0)	0.833		28 (36.4)	12 (15.6)	1.531	
		B 18 (22.5)	20 (25.0)			20 (26.0)	17 (22.1)		
3 乳酸菌飲料	体によい	A 26 (14.1)	17 (9.2)	17.500	**	22 (12.2)	23 (12.8)	12.962	**
		B 53 (28.6)	89 (48.1)			56 (31.1)	79 (43.9)		
	好き	A 23 (12.4)	75 (40.0)	36.967	**	25 (13.9)	66 (36.7)	18.677	**
		B 16 (8.6)	71 (38.4)			24 (13.3)	65 (36.1)		
4 野菜ジュース	体によい	A 29 (35.4)	14 (17.1)	0.129		22 (31.4)	12 (17.1)	0.321	
		B 17 (20.0)	22 (26.8)			16 (22.9)	20 (28.6)		
5 果実飲料	喉が渇く	A 45 (20.9)	43 (20.0)	1.234		41 (18.1)	54 (23.8)	0.245	
		B 55 (25.6)	72 (33.5)			48 (21.1)	84 (37.0)		
	好き	A 43 (20.0)	122 (56.7)	95.755	**	44 (19.4)	122 (53.7)	77.813	**
		B 9 (4.2)	41 (19.1)			17 (7.5)	44 (19.4)		
6 緑茶・ウーロン茶	喉が渇く	A 62 (21.1)	97 (33.0)	13.682	**	65 (21.1)	102 (33.1)	22.253	**
		B 51 (17.3)	84 (28.6)			44 (14.3)	97 (31.5)		
	好き	A 50 (17.0)	93 (31.6)	18.518	**	77 (25.0)	72 (23.4)	0.107	
		B 42 (14.3)	109 (37.1)			77 (25.0)	82 (26.6)		
	習慣	A 53 (18.0)	44 (15.0)	14.007	**	50 (16.2)	48 (15.6)	23.550	**
		B 88 (29.9)	109 (37.1)			110 (35.7)	100 (32.5)		
7 コーラ・炭酸飲料	喉が渇く	A 46 (30.9)	27 (18.1)	2.149		48 (29.6)	31 (19.1)	1.635	
		B 40 (26.8)	36 (24.2)			43 (26.5)	40 (24.7)		
	好き	A 12 (8.1)	62 (41.6)	25.961	**	21 (13.0)	72 (44.4)	37.779	**
		B 16 (10.7)	59 (39.6)			14 (8.6)	55 (34.0)		
8 コーヒー・紅茶 (砂糖入り)	好き	A 30 (16.6)	52 (28.7)	1.582		47 (26.0)	45 (24.9)	0.000	
		B 39 (21.5)	60 (33.1)			46 (25.4)	43 (23.8)		
9 コーヒー・紅茶 (砂糖なし)	好き	A 25 (18.5)	29 (21.5)	0.017		31 (19.4)	32 (19.4)	5.563	*
		B 29 (21.5)	52 (38.5)			55 (33.3)	46 (27.9)		
10 スポーツ飲料	喉が渇く	A 59 (46.1)	27 (21.1)	0.017		43 (45.3)	24 (25.3)	1.225	
		B 29 (22.7)	13 (10.2)			16 (16.8)	12 (12.6)		
11 食物繊維飲料	体によい	A 9 (14.3)	19 (30.2)	1.633		9 (18.0)	12 (24.0)	0.000	
		B 11 (17.5)	24 (38.1)			11 (22.0)	18 (36.0)		
	喉が渇く	A 12 (19.0)	7 (11.1)	2.227		5 (10.0)	13 (26.0)	0.173	
		B 15 (23.8)	29 (46.0)			10 (20.0)	22 (44.0)		

肯定回答率の多い項目を記載。A：飲む，B：飲まない，()内は％
 検定はマクネマー検定 * P<0.05 ** P<0.01

・炭酸飲料，コーヒー・紅茶（砂糖入り），スポーツ飲料，食物繊維飲料など多種類の飲料を飲んでいる傾向にある。

この年代は流行に敏感で好奇心旺盛なところから，生活情報の取り入れも積極的なところがあり，友人や，マスコミ，CM，雑誌などに影響されやすく飲用するものと思われる。

これらの飲料を女子高校生は両親よりいずれの場所・

時間帯においてもよく選択し飲んでいる。調査校においては，高校生専用の食堂があり，食堂内に数種類の自動販売機が設置されているので，昼食時や休憩時間に自由に利用できる現状にある。よって昼食時や休憩時，クラブ活動時に利用し飲んでいるものと思われる。苫米地ら¹²⁾は高校生は間食に清涼飲料・ジュース類の摂取が多く，自動販売機やお店で買うと報告している。さらに佐藤ら⁸⁾は女子短大生の飲料の購入場所は，コンビニエ

ンストアーや路上の自販機、小売店が多いと報告している。本報の女子高校生も通学途中や塾帰り、また友人達との語らいの場所で利用し、その時の気分や欲求により、好みの飲料を選択して飲んでいるものと思われる。

父親は女子高校生・母親より、野菜ジュースを飲む率が高く、家庭内・外で、食事時・外に健康志向理由で好まれ飲んでいて、これは普段の野菜摂取不足を意識している、改善行動と思われる。国民栄養調査結果¹³⁾においても、野菜摂取不足傾向がみられている。そのほかに女子高校生よりコーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）を家庭外で、若干であるが食事外に飲んでいる。職場関係の所で飲んでいると思われる。

母親はコーヒー・紅茶（砂糖なし）を家庭内・外で、好んで楽しみや習慣で飲み、また肥満予防を意識しているものとも思われる。

嗜好について、女子高校生は両親と比較して果実飲料を圧倒的に好んでいるが、摂取理由では嗜好的理由の「好き」、生理的理由の「喉が渇く」を選択しており、水分補給、ヘルシー、フレッシュ、酸味、V C 補給などから選択され好まれているものと推測する。次に乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料が好まれているが、前者は嗜好的理由、後者は嗜好性、生理的理由で好まれ、甘味、整腸作用、また爽快味のある飲料として好まれているものと思われる。

摂取理由においては、総体的にみて飲料を女子高校生は両親より、嗜好・生理・習慣・健康的理由により選択し、飲む理由が多岐にわたっている。一方両親は、主に健康・習慣的理由により飲んでおり、飲む飲料も定着化している。これは性・年齢や生活経験・習慣から得た価値観などの違いによるものと思われる。

類似点について女子高校生と父・母親間で飲むのが一致している飲料は、緑茶・ウーロン茶、牛乳、果実飲料、乳酸菌飲料、コーヒー・紅茶（砂糖なし）で、嗜好度の一致も高く、健康志向理由の「体によい」で牛乳、低脂肪牛乳、野菜ジュースを、生理的理由「喉が渇く」で緑茶・ウーロン茶、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料を、嗜好的理由の「好き」では緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶（砂糖入り）において親子の類似性がみられた。食品産業センターの調査¹⁴⁾によると、20歳前後の若者と両親とでは食物の嗜好、料理の嗜好は似やすい傾向があり、必ずしも高いとはいえないが母親と似ている傾向があると報告している。本報の女子高校生においては両親共に一部の飲料において、若干飲行動の類似性がみられた。高校生は中学生より行動半径や交友範囲も広がり、

家庭内のみでなく広く社会環境からの影響も大きく受けているものと推測する。

要 約

都市近郊の私立女子高校生（332名）とその両親（父親332名、母親332名）を対象に飲料の飲行動および嗜好の実態について調査を行い、親子の飲行動・嗜好の差異と類似点について検討し次の結果を得た。

1) 女子高校生は両親と比較して、日頃良く飲む飲料は果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）、スポーツ飲料、食物繊維飲料であり、多種類の飲料を両親より飲んでいる。父親は女子高校生より野菜ジュースを飲む率が高い。一日に飲む量は、コップ1杯以上飲む飲料が多いが、中でも両親に比較して女子高校生は牛乳、低脂肪牛乳、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料をコップ2杯以上飲む者が多い。三者が共によく飲んでいるのは、緑茶・ウーロン茶、牛乳であった。

2) 飲料を飲む場所については、緑茶・ウーロン茶を女子高校生と父親が家庭内・外で飲む者が多いが、母親は家庭内で飲む者が多かった。両親より高校生は、コーラ・炭酸飲料を家庭外で飲む者が多く、また父親との比較では、女子高校生が果実飲料、食物繊維飲料を家庭外で飲む者が多かった。父親は女子高校生より家庭外で牛乳、コーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）、野菜ジュースを、母親は家庭内・外でコーヒー・紅茶（砂糖なし）を飲む者が多かった。時間帯では女子高校生が両親より、乳酸菌飲料、果実飲料を食事時に飲む者が多く、またコーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料は食事時・外のいずれの時にもよく飲んでいる。

3) 嗜好では、両親より女子高校生が果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料を好み、野菜ジュースを好まず、父親には好まれていた。母親は女子高校生よりスポーツ飲料、食物繊維飲料、低脂肪牛乳、コーラ・炭酸飲料を嫌う者が多く、コーヒー・紅茶（砂糖なし）は好む者が多かった。またコーヒー・紅茶（砂糖入り）は母親と比較して高校生に好まれていた。

4) 摂取理由については、女子高校生は両親より嗜好的理由の「好き」で飲むのは果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料で、生理的欲求理由の「喉が渇く」ではコーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）、「習慣」では牛乳、健康志向理由の「体に良い」では緑茶・ウーロン茶を両親より多く意識し選択して飲む者が多かった。また「楽しみ」の理由で果実飲料を飲む者が多かった。

た。両親は「習慣」でコーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）を選択して飲み、母親はそのほかに「楽しみ」でコーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）を、緑茶・ウーロン茶を「習慣」で、牛乳を「体によい」理由により飲んでいた。

5) 親子の類似点について、緑茶・ウーロン茶、牛乳、果実飲料、乳酸菌飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り、なし）において、女子高校生と両親間に飲む一致率が高く、嗜好上も好まれており類似していた。また父・母親間において、低脂肪牛乳、食物繊維飲料、母親間で野菜ジュースは飲まないに一致がみられた。摂取理由では、女子高校生・父母親間共に健康志向理由の「体によい」で牛乳を、生理的理由の「喉が渇く」で緑茶・ウーロン茶を選択しており、母親間では緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶（砂糖入り）を「好き」の理由により飲む一致性がみられ類似性がみられた。

なお本研究は栄養指導研究会の活動によるものであり、ご協力いただきました研究会員の皆様に謝意を表します。

文 献

- 1) 食糧栄養調査会編集：食料・栄養・健康，医歯薬出版 p.13～20 (1989)
- 2) 食糧栄養調査会編集：食料・栄養・健康，医歯薬出版 p.12～17 (1990)
- 3) 食糧栄養調査会編集：食料・栄養・健康，医歯薬出版 p.76～81 (1992)
- 4) 総務庁統計局：家計調査年報 平成6年，p.393 (1994)
- 5) 日刊経済通信社調査出版部編：酒類統計食品年報，平成7年版，p.261～313 (1995)
- 6) 会田敏尚他：性・年齢別にみた牛乳飲用量と牛乳に対する嗜好，栄養学雑誌，51，4，235～241 (1993)
- 7) 本田真実他：日本茶の飲用実態と食事，栄養学雑誌，47，241～249 (1989)
- 8) 佐藤紀子他：女子短大生の飲料利用状況について，聖徳栄養短期大学紀要，No.23，(1992)
- 9) 関千代子他：飲料の摂取状況に関する研究，淑徳短期大学研究紀要，第31号，(1992)
- 10) 高木廣文：HALBAU-4マニュアルⅡ基礎統計学，現代数学社，(1994)
- 11) 高木廣文：健康科学とコンピュータ，共立出版，p.20～21，(1996)
- 12) 青少年食生活研究会・代表苔米地：青少年の食生活における調査研究（財）伊藤忠記念財団，p.108～135 (1987)
- 13) 厚生省保健医療局健康増進栄養課：国民栄養の現状平成5年度成績，第一出版，p.85 (1995)
- 14) (財)食品産業センター：団塊ジュニアの食生活，p.21～24，81～90，125～135，(1996)